

## 第59回 全国母子生活支援施設研究大会

# 自由研究発表募集要項

全国母子生活支援施設研究大会は、全国の母子生活支援施設の役職員が集い、支援の質、職員の質のさらなる向上に資することを目的に、課題のある母子家庭の状況や母子生活支援施設における支援のあり方などについて研究協議を行う場です。

このような研究大会の主旨をふまえ、大会では毎年「自由研究発表」の時間を設け、各地域や各施設で取り組む研究や実践を発表いただいております。テーマごとの分科会にわかれ、大会参加者や助言者（学識者・関係者）とその取り組みを協議し、発表者、参加者双方が今後の実践に活かしていこうとするものです。なお、本年度は、よりテーマに沿った議論を進めていただくために「学会方式」ではなく、事前選択制の通常分科会といたします。

ぜひ日頃の研究や実践の成果をご発表いただき、実りある場としたいと願っておりますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

### 1. 各分科会のテーマと助言者

#### 第1分科会 「必要とされる母子生活支援施設を考える」

助言者 山辺 朗子 氏（龍谷大学 社会学部 臨床福祉学科 教授）

乙部 公裕 （全国母子生活支援施設協議会 制度施策委員長/三重県・みのり苑）

支援を必要とする母子世帯は増加していくことが見込まれる一方で、現状は施設数や利用世帯数が減少傾向にあり、稼働施設の約半数が暫定定員となっています。本当に支援が必要とされる母子世帯に、支援を届けるためには今、何が必要かを考え、母子生活支援施設の活用可能な機能について今後の方策を研究・討議します。

#### 第2分科会 「利用者支援の充実」

助言者 青木 邦子 氏（(社福) 親愛の里 名古屋支援事業所 所長・精神保健福祉士）

渋谷 行成 （全国母子生活支援施設協議会 研修広報委員長/東京都・新宿区立かしわヴィレッジ）

インケアの充実こそ支援の幅を広げ、地域から求められる施設に成長していくことにつながります。DV、児童虐待による入所の母子、障害のある母子、外国人の母子等の抱えた様々なケースへの支援事例や、母子再統合の取り組み、関係機関との連携について研究・討議します。

#### 第3分科会 地域支援、社会貢献の取り組み

助言者 金川 めぐみ 氏（和歌山大学 経済学部 市場環境学科 准教授）

廣瀬 みどり （全国母子生活支援施設協議会 総務委員長/大阪府・東さくら園）

社会福祉法人制度の改革により、地域における公益的な取り組みの実施が社会福祉法人の責務となります。地域に向けた公益活動や、深刻化している社会的孤立などの地域の福祉課題・生活課題への取り組みについて研究・討議します。

### 2. 自由研究発表の日時

平成27年10月16日(金) 9:00~12:00 ※研究大会2日目

### 3. 自由研究発表の進め方（各分科会共通）

各分科会の発表者は2名（グループ）とし、以下のとおり進めます。

- 9：00 ～ 9：10 オリエンテーション、座長、助言者、記録者の紹介等  
9：10 ～ 10：10 研究発表①  
（発表30分、質疑応答・意見交換10分、協議10分、助言10分）  
10：10 ～ 10：30 休憩・準備  
10：30 ～ 11：30 研究発表②  
（発表30分、質疑応答・意見交換10分、協議10分、助言10分）  
11：30 ～ 12：00 まとめ協議（意見交換、助言）

### 4. 応募方法

発表を希望する方は、応募用紙に必要事項を記入のうえ、全国母子生活支援施設協議会事務局宛、8月21日（金）までに、E-MailまたはFAXにてお送りください。8月28日（金）までに決定についてご連絡差しあげます。応募が多数の場合は、選考を行いますので、あらかじめご了承ください。

### 5. 応募にあたっての留意点

- 発表は1名でも複数名（グループ）でも構いません。複数名の場合には、応募用紙「1. 発表者の氏名、連絡先等」欄には代表者についてご記入いただき、「4. 通信欄」にグループ名とその他発表者の情報（都道府県・施設名・職名・氏名）をご記入ください。
- 大変恐縮ではございますが、発表にあたり、本会より研究大会の参加費、これに係る旅費等をお支払いすることはできかねますので、何卒ご了承ください。つきましては、発表のご応募とあわせて、同封しております研究大会参加申込書にて大会参加申込みの手続きをいただきますようお願い申し上げます。

### 6. 発表資料等

#### （1）発表資料について

発表決定を受けられた後、発表資料をご提出いただきます。参加者への配布資料（冊子）に発表資料を掲載いたしますので、印刷等の都合上、9月18日（金）までに全国母子生活支援施設協議会事務局宛にE-Mailにて電子データをご提出いただく予定です。ご準備ください。資料はA4判6枚程度（参考資料除く）とし、入所世帯や関係者に関する個人が特定できる情報が含まれないよう、十分ご注意ください。

なお、パワーポイント等を用いて発表する場合には、応募用紙にその旨をご記入ください。

#### （2）事前打合せについて

発表当日（10月16日（金））朝8時より、会場にて座長、助言者、記録者、発表者による事前打ち合わせを行いますので、ご予約ください。

※なお、発表にかかわる詳細は、上記の決定連絡以降、改めてご連絡します。

### 7 自由研究発表に関するお問い合わせ

全国社会福祉協議会・全国母子生活支援施設協議会事務局（担当：吉田）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL：03-3581-6503 FAX：03-3581-6509

E-Mail：boshi@shakyo.or.jp

※ 応募用紙を電子データにて作成・送信を希望の場合には、お手数ですがE-Mailにてご連絡ください。

第59回 全国母子生活支援施設研究大会  
自由研究発表 応募用紙

1. 発表者の氏名、連絡先等

発表者氏名		職名	
所属施設名		都道府県名	
TEL		FAX	

2. 発表を希望する分科会（○をつけてください。）

<input type="checkbox"/> 第1分科会 <input type="checkbox"/> 第2分科会 <input type="checkbox"/> 第3分科会
--

3. 発表を希望する取り組みについて（概要を箇条書き等で簡略に記入してください。）

標題・テーマ	
取り組みの目的・動機	
取り組みの方法・内容	
取り組みにより得られた成果	
今後の課題等	
発表の動機	(意見交換したい点)  (助言いただきたい点)

4. その他

パワーポイントの使用	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
通信欄	(事務局へのご要望等、連絡事項等)